

JC PRESS

年末号

発行所／社団法人 京丹後青年会議所 編集／広報委員会

社団法人 京丹後青年会議所 2012年度スローガン

まちを照らす光となれ!

～自らの成長が地域に希望を与える～



JCI 社団法人 京丹後青年会議所
2012年度理事長 沖田真奈美

「2012年を振り返って」

2012年度社団法人京丹後青年会議所は、「まちを照らす光となれ!」の自らの成長が地域に希望を与える」のスローガンのもと、目に見えないものへの価値を見出し、地域の方々と心の繋がりをづくり、どんな困難でも乗り越えることができる強さと英知、すなわち生き抜く力を養うことを目的に活動してまいりました。

心の繋がりを強めるためそして45周年ビジョンに掲げた「行動力のあるまち」を創るため、ネットワークづくりも行い、研修を通じての自己研鑽にも力を注ぎました。多くの地域の方々のご協力を得て、小学生ウルトラクイズも5年という節目を迎えることができました。そして私たちの活動をより多くの方々に知っていただき、同じ志を持つ仲間を増やしたいと、この青年会議所新聞を再開致しました。

青年らしく常に前向きに進化を遂げようとする若者らしい姿を地域の方々にお見せすること、人々を勇気づけ未来への希望を抱かせる存在になりたいと奮闘した一年でした。多くの方々との出会い、交流し、ネットワークを築けたことは、ひとえに私たちの活動にご賛同頂き、お力添えを賜りました地域の方々のお蔭だと感謝しております。

47年間脈々と地域に根差して活動してきたこの青年会議所を、今後も必要とされる団体として存続すべく、メンバー一丸となり努力する所存です。どうぞ来年も本年度と変わらぬご支援のほど宜しくお願い申し上げます。

JC PRESS 年末号

丹後の若者同志の対談

(社)京丹後青年会議所では、地域で頑張る人達とネットワークを積極的ににつくり、更に絆を深めて参りたいと考えています。広報委員会では、行政・各種団体と互いの思いを共に語り合う場を設け、その様子を市民の皆様にも広く発信して参ります。

今号は、私たち(社)京丹後青年会議所メンバーと同世代の集まりである、京丹後市商工会青年部 部長 梅田孝幸氏と、(社)京丹後青年会議所 理事長 沖田真奈美で、「丹後の若者同志の対談」と題しまして、丹後の魅力の創造・発展、自己の成長、若者同志のネットワークづくりについて語って頂きました。

丹後の魅力

沖田 本日はお忙しい中、お時間を頂戴して誠にありがとうございます。今回は、丹後の若者同志の対談ということでよろしくお願ひ致します。

さて、私たちの暮らす丹後には、豊かな自然や美味しい食べ物などの多くの魅力があると思いますが、梅田部長が感じておられる丹後の魅力はどのようなものでしょうか。

梅田 丹後には本当にたくさんさんの魅力があります。しかし、美しい自然や景色、美味しい食べ物など似たようなものは日本全国にあり、丹後独自の魅力にはなりにくい気がします。これからは、ここに住む人々が新しい魅力をつくっていくことが重要だと思います。

沖田 なるほど、そうですね。私は古い歴史も丹後の一つの魅力かなと考えています。それぞれの時代の人々が作り上げてきたものが、現代に至るまで受け継がれ、丹後独自の魅力となっているのだと思います。今後は、今ある素晴らしい丹後の財産をしっかりとプロデュースして、発信し、丹後独自の魅力として、次代に繋ぐことが、私

ち若い世代の役割の一つかもしれませんね。

自己の成長

沖田 まちづくりは人づくりと言われます。まちを良くする方法というのは沢山あるかと思いますが、今年、私たちは、まずは自分たちの能力を高めて、自分自身がしっかりと自立し、成長していくことが、結果として地域の発展に繋がると考え、自己研鑽のための研修事業を行ってききました。それは、2011年の東日本大震災以降、人々の価値観が大きく変化し、物質的な豊かさから心の豊かさや、どんなことがあっても再び立ち上がる生き抜く力を養うことが必要とされているのではないかと感じたからです。また、青年経済人の集まりである、私たちは、自分たちの仕事を頑張っているからこそ、まちづくりや青少年の健全育成などの青年会議所運動にもエネルギーや時間を費やせるのだと考えています。

梅田 そうですね。私たちは商工会青年部は、まちづくり活動に取り組むと同時に、経営者としての資質を向上させる研修事業も行っています。私たちの世代になると、会社では中心的な役割を担っている人がほとんどです。私たちは、自分を磨いて成長させ、元気になることは、自社の発展に直結してくると思います。地域の事業所が元気になれば、自然とその地域も活気づくと思います。ですから、私たちの世代はもっと勉強していくことが大事だと思いますね。

梅田 確かに、まちの企業が元気になれば、そのまちも自然と元気なまちになり、発展していくでしょうからね。まちづくりの活動も大切ですが、自分を磨く研修事業も大切ですね。

梅田 どちらかと言えば、私たち商工会青年部は、市政に關することなどの勉強会等は少なかつたように思います。そういうことは青年会議所さんの方が長け

IMPULSE

梅田孝幸氏

京丹後市商工会青年部 部長
梅田豊製作所 代表
平成22年には京都府商工会青年部連合会の会長も務めた一級量技能士。
毎年、裏千家の畳替えや海外にも応援に出かける傍ら、京丹後市のまちづくりにも奔走する。



JCI

沖田真奈美

(社)京丹後青年会議所 第47代理事長
株式会社 アウルコーポレーション 副社長
京丹後青年会議所初の女性理事長として日々まちのために情熱を燃やす。



裏面へ続く



impulse JCI 丹後の若者同志の対談

沖田 なるほど。他団体とのつながりも重要視されていますが、同じ団体のメンバーの力が

梅田 丹後に住む若者同志が繋がりを持つということは素晴らしいことだと思います。他団体とのネットワークも大変重要だと考えています。それと同時に、同じ団体に所属するメンバーの気持ちと同じ方向に向けるということも大切だと考えています。

沖田 確かにそうですね。組織の中だけでなく、丹後の若者同志もまちの発展、活性化のためにそうあると良いですね。そのなれば、丹後はもっと元氣のある素晴らしいまちになると思います。そのためには、丹後に住む若者たちが共に語り合える場があっても良いと思います。まずは、同世代の集まりである商工会青年部さんと、私たち青年会議所と、定期的に語り合える機会をつくっていききたいと考えておりますので、今後とも何卒よろしくお願ひ致します。今日は長時間に渡りありがとうございました。

梅田 そうですね。一人ひとりの力は小さいですが、同じ志の若者が皆同じ方向を向いて、何かまちのために取り組めればすごい力になると思います。

十分に発揮できるように、メンバーの気持ちを同じ方向に向け、全員でまとめることも重要だとお考えなのですね。



impulse 京丹後市商工会青年部 部長 梅田孝幸氏



JCI 京丹後青年会議所 第47代理事長 沖田真奈美

丹後の若者同志の対談

2013年度 理事長予定者決定



みき たけのり
三木健徳 (37歳)
京丹後市大宮町出身
事業所：株式会社 三木

去る7月10日、京丹後市峰山地域公民館に於いて臨時総会が開催され、2013年度の理事長として、三木健徳君が決定いたしました。

この移り変わりの激しい時代に、(社)京丹後青年会議所とそのメンバーを更なる飛躍へと導いてくれる人材であると私たちは信じております。また、これから京丹後を担うリーダーの一人として、その力を十分に発揮してくれると確信しております。

今後とも先輩諸兄、地域の皆様の一層のご支援とご理解を賜りますようお願い申し上げます。

●主なJC歴

- 2003年 入会
- 2006年 総務情報委員会 副委員長
- 2007年 まち・仲間づくり委員会 委員長
- 2008年 青少年・研修委員会 委員長
- 2009年 副理事長
- 2010年 45周年実行委員会 副委員長
- 2011年 専務理事
- 2012年 監事

編集後記

京丹後青年会議所新聞の年末号を発行するにあたりご協力を賜りました、京丹後市商工会青年部 梅田部長様、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

本年度広報委員会では、この京丹後青年会議所新聞を発行することで、私たちの活動を地域の方々に少しでも知って頂き、市民の方々と手を取り合って共にまちづくりを行っていただくための一つの契機にしたいと考えて取り組んで参りました。

一年間で覧頂きまして誠にありがとうございました。来年度も引き続き発行を予定しておりますので、是非ご覧頂きたく思います。今後とも京丹後青年会議所新聞を何卒よろしくお願い申し上げます。

本年度、(社)京丹後青年会議所では「JCプレス」を京丹後市のご家庭に新聞折込させていただきました。※季刊誌として年内3回発行(1月・7月・12月)

記事に関するご意見、ご質問等ございましたら(社)京丹後青年会議所／広報委員会までお寄せください。

〒627-0041 京丹後市峰山町菅373番地 ふきあげビル4階401号

TEL.0772・62・3153 FAX.0772・62・3120

info@kyotangojc.com

www.kyotangojc.com

京丹後JC WEB 京丹後JC 検索

「一生の友に出会える」

人は誰でも、悩み判断に迷う時には誰かに相談したくなるもの。

それが会社経営のことなら尚更だ。

そんな時、自分と同じ立場で相談できる友がいる。

それだけでもきっとあなたは救われるはず。

かけがえのない一生の友ができる。

あなたの入会をお待ちしています。

JCI 京丹後青年会議所 会員募集中

10月事業 「京丹後まちづくり青年塾」

10月22日に「京丹後まちづくり青年塾」集え! まちの青年達! と題して、京丹後市の若手職員の方々、京丹後市商工会青年部の皆様、(社)京丹後青年会議所の三者共催で、一般応募の方々にもご協力頂き、(社)京丹後青年会議所10月事業を開催致しました。

まちの未来のために郷土愛を持った青年達が集まり、互いの理解を深め、共に京丹後市の発展、活性化のためにアイデアを出し合い、実現可能な具体的な案を提言することを目指し開催致しました。

昨年11月に行いました「三者交流会」京丹後の未来の為に」に続き、このまちに住む青年達が、共に京丹後の未来を考える貴重な機会となったと考えます。

事業開催までに何度も行なったワーキンググループでは、「KTRの活性化」「定住・婚活」「森本インターチェンジ完成に伴う活性化」の3テーマごとに、各団体と一般応募の参加者が3グループに分かれて様々なアイデアを出し合い議論しました。初めて顔を合わせた若者同志、最初は上手く会議が進まないこともありましたが、皆京丹後を思うそれぞれの気持ちで語り合う中で自然に打ち解け、実現可能な具体的な案をつくり上げる第一歩になったと思います。それと同時に、会議を重ねる中で新たな気づきや学びを得ることができ、今後にかける若者同志のネットワークを構築できたと考えます。

同世代の若者達と、まちのために共に取り組めたことは今後の地域の発展、活性化のための第一歩になったと確信致しております。

事業に向けて共に取り組んで参りました京丹後市若手職員の方々、京丹後市商工会青年部の皆様、一般応募の方々、当日ご来場頂き傍聴頂きました市民の皆様、心より御礼申し上げます。これを機会に明るい豊かな京丹後を目指し、今後も手を取り合い連携しながら活動して参りたいと思います。

事業報告 JC PRESS 年末号



京丹後まちづくり青年塾

～集え! まちの青年達～

共催／(社)京丹後青年会議所・京丹後市商工会青年部・京丹後市



未来を考える貴重な機会となったと考えます。

事業開催までに何度も行なったワーキンググループでは、「KTRの活性化」「定住・婚活」「森本インターチェンジ完成に伴う活性化」の3テーマごとに、各団体と一般応募の参加者が3グループに分かれて様々なアイデアを出し合い議論しました。初めて顔を合わせた若者同志、最初は上手く会議が進まないこともありましたが、皆京丹後を思うそれぞれの気持ちで語り合う中で自然に打ち解け、実現可能な具体的な案をつくり上げる第一歩になったと思います。それと同時に、会議を重ねる中で新たな気づきや学びを得ることができ、今後にかける若者同志のネットワークを構築できたと考えます。



JC PRESS 年末号

巷談

近年、空前の登山ブームが巻き起こっている。もともとの登山層だった中高年に加え、このブームを牽引するのは、初心者など気軽に登山を楽しむ若者たちである。日本一登山者の多い山である富士山へは2005年が約20万人だったのに比べ、2012年は30万人を超える人が登っており、日本の登山人口は2010年で1230万人といわれている。▼登山ブームのきっかけは「エコ」「健康」「スローライフ」を推奨する現代のライフスタイルではないだろうか。それに加え、「山ガール」に代表されるお洒落な登山スタイルが話題となり、若い女性がファッションをきっかけに山に興味を持つことが増えている。▼山の魅力といえば、おいしい空気、見晴らしの良い景色、四季折々の変化、大自然の雄大さ、山頂に達した時に得られる充実感と達成感など多くの魅力で溢れている。▼山ではすれ違う時や、追い抜く時に「こんにちは」「お先にどうぞ」など声をかけるのが習慣となっている。励ましの言葉を掛ける光景も珍しくない。見ず知らずの人からの挨拶や気遣いは元氣になれる力があると思うが、普段の生活ではずいぶん減ってしまった習慣だ。▼田舎と呼ばれるこの京丹後市でも、人と人との繋がりが希薄化しているのではないだろうか。見ず知らずの人にも気遣いのできる温かい心を持った人で溢れるまちになって欲しいと思う。